

平成松下村塾

～誇り高き我が街 萩～



本年度、社団法人萩青年会議所 社会開発委員会では、わが街で暮らし、働き、また学んでいる若者を対象に政治意識の高揚を目標に掲げ「平成松下村塾」なる塾を開塾し活動してまいりました。

さて、昨今、国の掲げる地方分権が推し進められ、地方の自立が課題となってきております。中央と地方における地域格差の問題も増大の一途をたどっております。そうしたなか、この地域を変革して行く為には、やはり政治や行政の役割は重要であり、とりわけこれからのわがまちを担っていく若者の政治参加が絶対的に必要であると考えます。若者にとっては、自分たちの考えは政治家の公約に取り込まれていなかったり、自分たちが主張しても反映してはもらえないとの思い込みから、ますます、無関心になっているのではないのでしょうか。

また我が街萩は、明治維新胎動の地であり、国を動かした多くの若い志士たちを輩出した地域でもあります。今回の塾に入塾していただくことにより、塾生の政治意識を高揚させ、政治に興味を持ち、先人達の志を受け継ぎ、そしてなによりも、わがまちを愛してやまない若者たちが、この地域より育ってくれればと思ひからこの「平成松下村塾」を開塾いたしました。

開塾にあたり、萩市及び阿武町に在住、在勤、在学の若者を対象に塾生を公募いたしました。

塾の内容は、生の政治を体感してもらう為、東京国政視察をメインに全6回開催いたしました。

第1回は、松陰先生と門下生というテーマで、萩市特別学芸員の一坂太郎先生に講義をしていただきました。「目標」とは違う「志」を持つということはどういうことなのか、塾生一人一人が深く考える回になりました。

第2回は、現代政治学入門というテーマで政治の仕組み等をメンバーである玉村信一君を講師にして学んで頂きました。

第3回は、我が街の現状と将来についてというテーマで我が街より選出の県議員のお二方より講義をしていただきました。地域の現状を学び自分達の足許を知る回になりました。

第4回は、塾生みんなで我が街についての思いを意見交換し、提言書をまとめました。

第5回は、国会見学・総理官邸訪問を行い、我が街選出で萩 JC のOB でもある河村代議士に前回まとめた提言書を提出いたしました。その後、世田谷松陰神社を参拝し、松陰先生の墓前では、塾生全員がこれからの萩を、未来の日本を真摯に考え、行動していくことを誓ったものと思います。

そして、最終回となる第6回は、オープン塾ということで、我々 JC マンとも同世代、塾生とも歳が近い、後藤田正純先生にご講演いただきました。歯切れのいいお話と、実際に国政にかかわっていただければ聞けないお話に、思わず引き込まれてしまいました。そして最後に塾生みんなに塾の成果を発表していただき閉塾となりました。

社会開発委員会 副委員長
波多野 慎一

